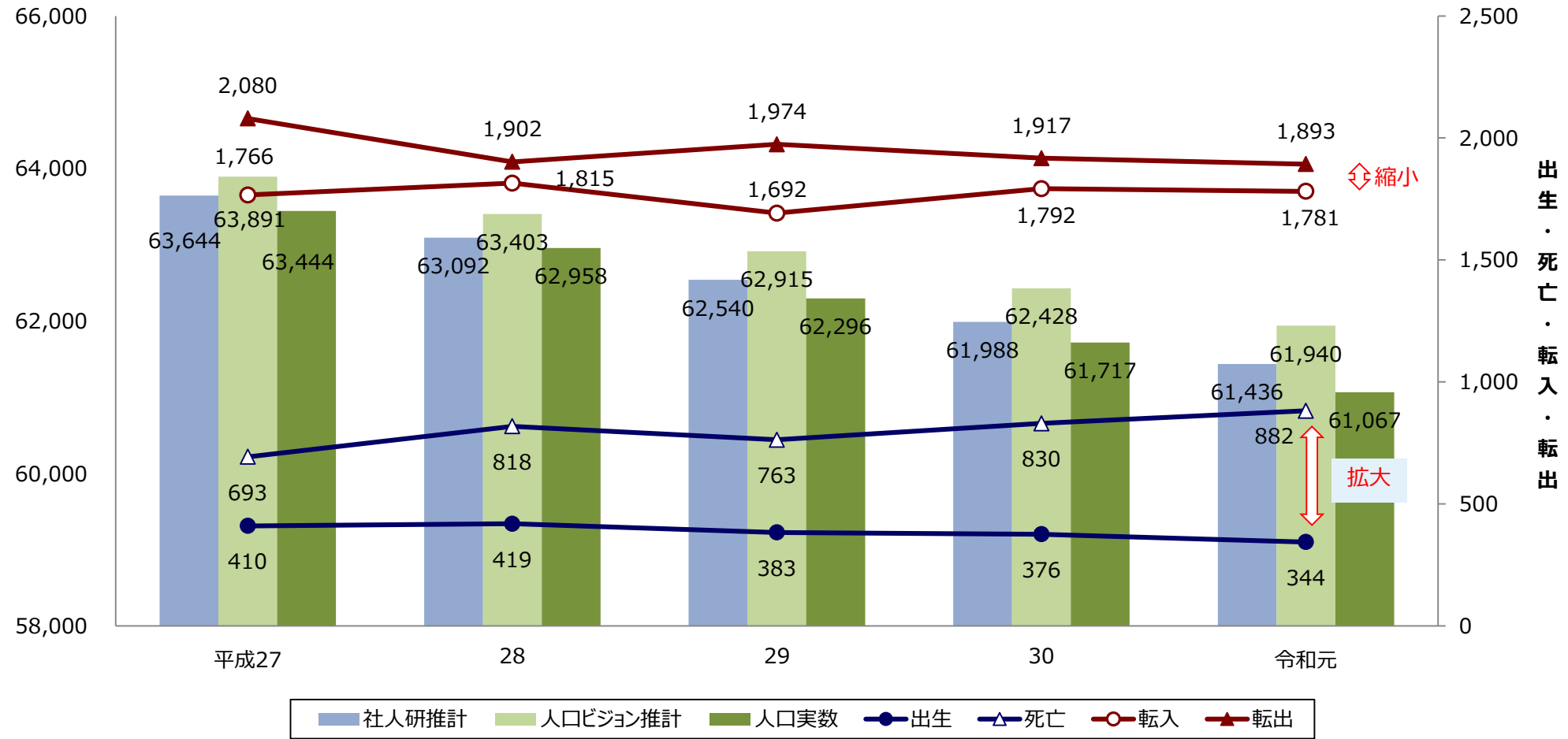


# 1. 人口の推移

令和元年における本市の人口は61,067人と第1期人口ビジョン推計人口61,940人を下回る状況で推移している。自然動態においては、出生数の減少と死亡数の増加による「**自然減**」が拡大し、社会動態においては、転出者が転入者を上回ることによる「**社会減**」が縮小傾向にある。



→ **自然減の拡大**  
 → **社会減の縮小**  
 (社会増への取組の成果)  
 移住・定住住宅取得等支援事業  
 137世帯351人  
 (30代 42%, 40代 26%,  
 60代 14%, 20代 10%,  
 その他 9%)  
 ※ H27～R1.12月

【出典】住民基本台帳（十和田市）

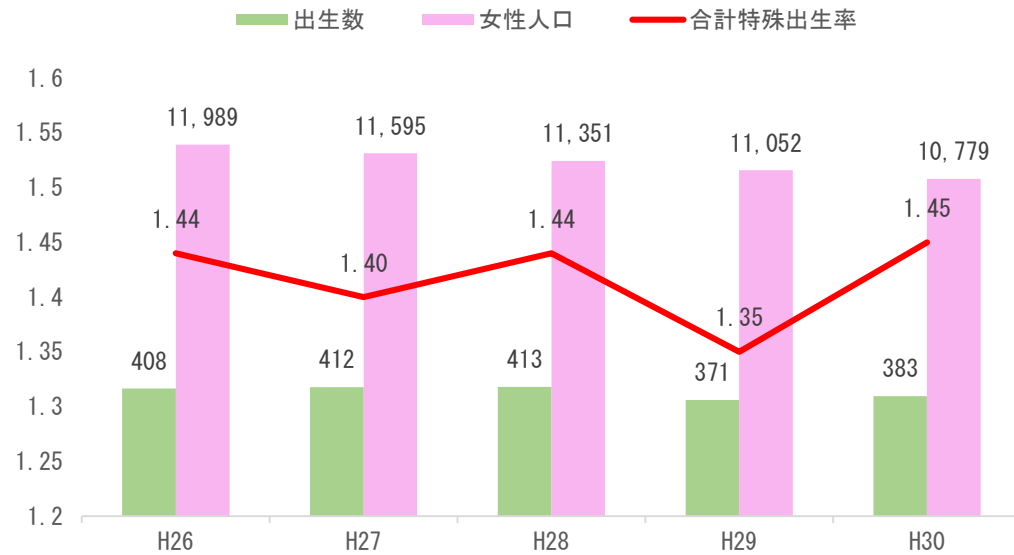
平成28年から令和元年における人口の総増減は人口実数（▲2,377人）が社人研推計（▲2,199人）、人口ビジョン推計（▲1,951人）の両方を下回る一方で、自然増減は人口実数（▲1,771人）が社人研推計（▲1,879人）を106人上回っている。

	人口実数と推計値との比較（平成28年～令和元年）				
	社人研推計	人口ビジョン推計	人口実数	対社人研	対人口ビジョン
①出生数	1,454	1,717	1,522	68	▲195
②死亡者数	3,333	3,264	3,293	▲40	29
③自然増減（①－②）	▲1,879	▲1,547	▲1,771	106	▲224
④社会増減	▲320	▲404	▲606	▲286	▲202
総増減（③＋④）	▲2,199	▲1,951	▲2,377	▲180	▲426

→ **概ね社人研推計と同じ動向**  
 → **社会増に向けた取組を更に強化**

## 2. 自然動態に関する指標の分析

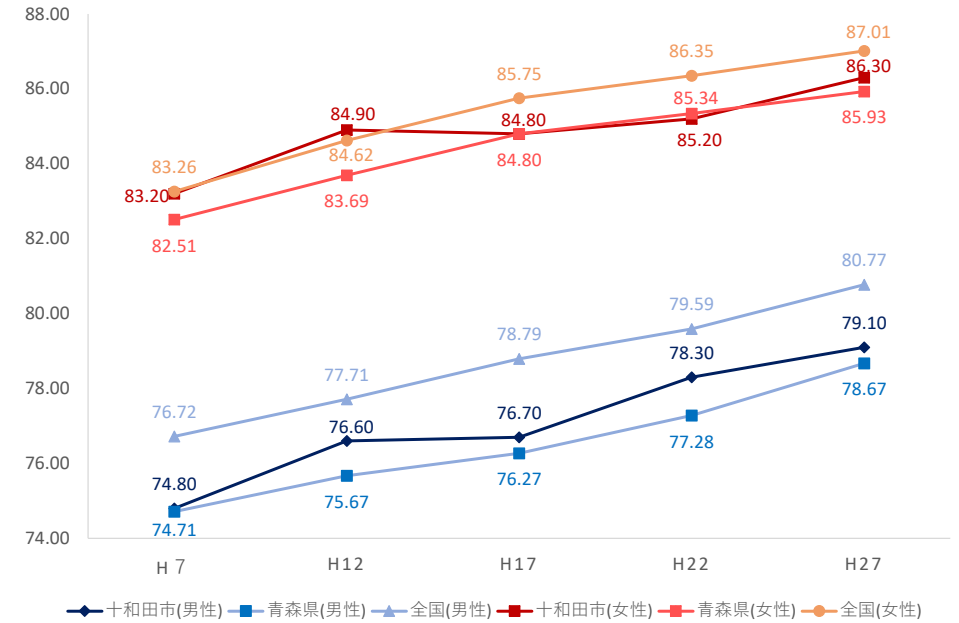
- 合計特殊出生率※と出生数は年によって変動しているが、女性人口は減少が続いている。**→女性人口が減少することにより、合計出生率を維持しても出生数が減少**



※15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

【出典】住民基本台帳（十和田市）

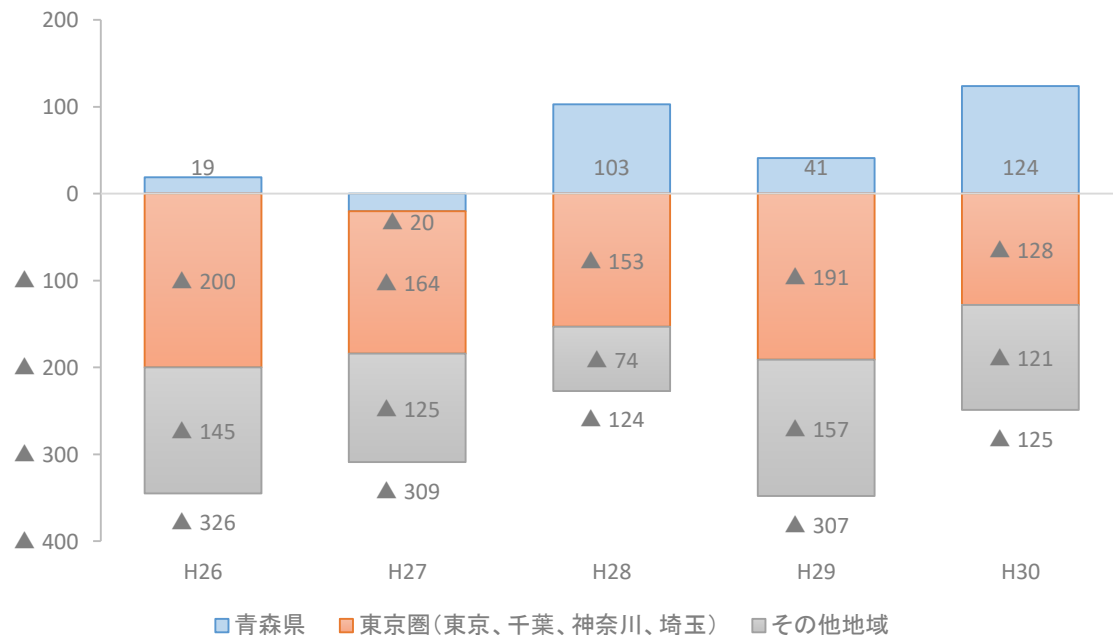
- 平均寿命は男女ともに延び、全国より低いですが、青森県全体より高くなっている。**→健康維持に対する取組の成果が対社人研データにみられている**



【出典】都道府県別生命表（厚生労働省）、市町村別生命表（青森県）

## 3. 社会動態に関する指標の分析

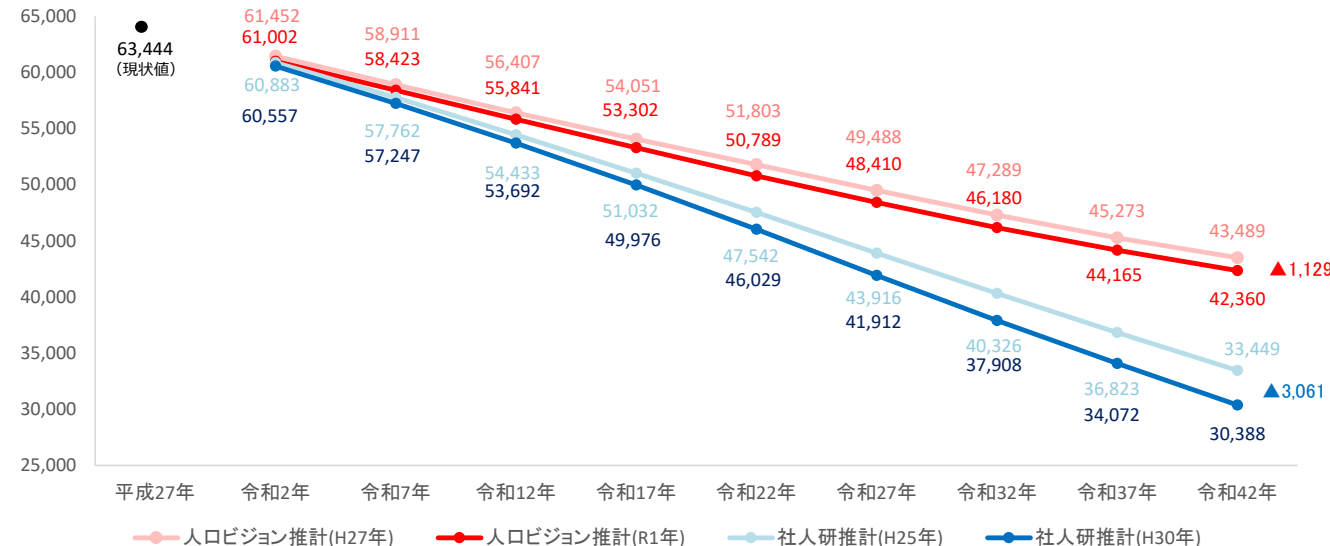
- 社会動態は年によって変動しているが、転出超過は縮小傾向にある。地域別では青森県内からは転入超過となっており、青森県外（特に東京圏）へは転出超過となっている。**→進学等による県外への転出者のUターン促進が必要**



【出典】国勢調査（総務省）

## 4. 今後の見通し

- 平成27年の国勢調査を踏まえた本市の推計人口は、令和42年（2060年）に42,360人となり、平成28年策定時の推計人口43,489人を1,129人下回る見通し。



（参考）令和2年改訂の青森県の推計人口は、令和42年に962,090人となり、改訂前の推計人口1,002,971人を40,881人下回る見通し。

【出典】国勢調査（総務省）

● 第1期総合戦略における18項目のKPIのうち、9項目を達成

基本目標	No	区分	指標	現状値 (H27戦略策定時)		KPI (R1年)	直近値 (今回検証値)		KPI 達成
				数値	対象年度				
基本目標1 十和田で想いのある仕事を 地域における安定した雇用を創出 する	1	基本目標 KPI	年間観光客入込数	H26年度	271万人	300万人	311万人	(H30年度)	○
	2	基本目標 KPI	六次産業化認定事業者数	H26年度	3件	8件	5件	(H30年度)	
	3	KPI	年間新規就農者数	H26年度	4人	12人	6人	(H30年度)	
	4	KPI	年間創業支援相談件数	H26年度	40件	70件	81件	(H30年度)	○
	5	KPI	冬季宿泊者数(12月~3月)	H27年度	44,529人	60,000人	67,774人	(H30年度)	○
	6	KPI	年間観光消費額	H26年度	344億円	380億円	547億円	(H30年度)	○
基本目標2 十和田でバラ色の人生を 地域への新しいひとの流れをつく る	1	基本目標 KPI	社会増減数	H26年	▲307人	▲248人	▲125人	(H30年)	○
	2	KPI	年間近居・同居支援利用世帯数	—	—	30世帯 (20世帯)	22世帯	(H30年度)	○
	3	KPI	お試し移住を利用して転入した年 間世帯数	—	—	20世帯 (5世帯)	10世帯	(H30年度)	○
基本目標3 十和田ではぐくもう人間愛を 若い世代の結婚・出産・子育ての 希望をかなえる	1	基本目標 KPI	合計特殊出生率	H25年	1.44	1.54	1.45	(H30年度)	
	2	KPI	婚姻率	H25年	4.4	4.6	3.6	(H30年度)	
	3	KPI	年間不妊治療延べ申請件数	H26年度	46件	53件 (100件)	59件	(H30年度)	○
	4	KPI	放課後児童クラブ(仲よし会)開 設箇所	H26年度	9箇所	16箇所	13箇所	(H30年度)	
基本目標4 十和田で育てよう地域愛を 時代に合った地域をつくり、 安心な暮らしを守るとともに、 地域と地域を連携する	1	基本目標 KPI	介護保険制度の要支援1・2の方の 維持・改善率	H26年度	88.40%	92%以上	90.10%	(H30年度)	
	2	KPI	日常生活動作が自立している期間 の平均	H25年度	男性 76.75歳 女性 81.81歳	男性 78.17歳 女性 83.16歳	男性 77.88歳 女性 82.44歳	(H28年度)	
	3	KPI	地域包括支援センター数	H26年度	1箇所	3箇所	3箇所	(H30年度)	○
	4	KPI	元気な十和田市づくり活動支援事 業を活用した人口減少・少子高齢 化対策事業数	H26年度	1事業	8事業	3事業	(H30年度)	
	5	KPI	新たな広域コミュニティ数		—	11地区	4地区	(H30年度)	

総 括

**<自然減対策>**  
 ○出生数の維持  
 ↓  
 合計特殊出生率の上昇、  
 女性人口の維持が必要

○平均寿命の延伸  
 ↓  
 第1期における死亡者数  
 の抑制効果を踏まえ、全  
 世代の健康維持が必要

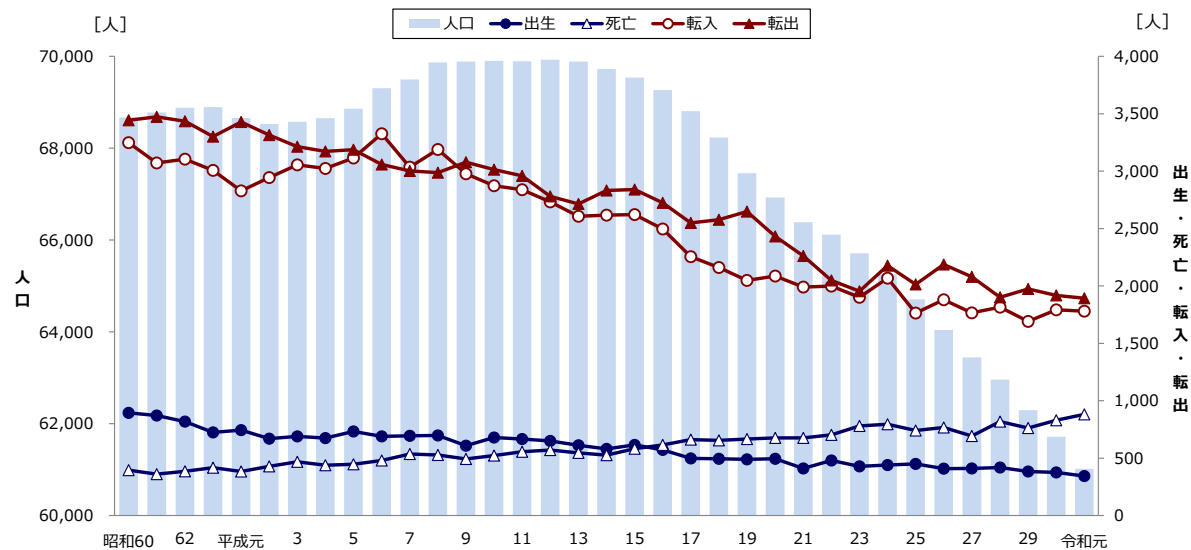
**<社会減対策>**  
 ○若年層のUターン促進  
 ↓  
 進学等による転出者への  
Uターン促進が必要

**<総 括>**  
 出生数の維持、平均寿命  
 の延伸、若年層のUター  
 ン促進に向け、雇用環境、  
 子育て環境、地域コミュ  
 ニティの活性化等、第1  
 期の取組継続、強化、見  
 直しによる市民が住み続  
 けたいと思えるまちづく  
 りの継続が必要

# 十和田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（令和2年改訂）の概要

## 1. これまでの人口の推移

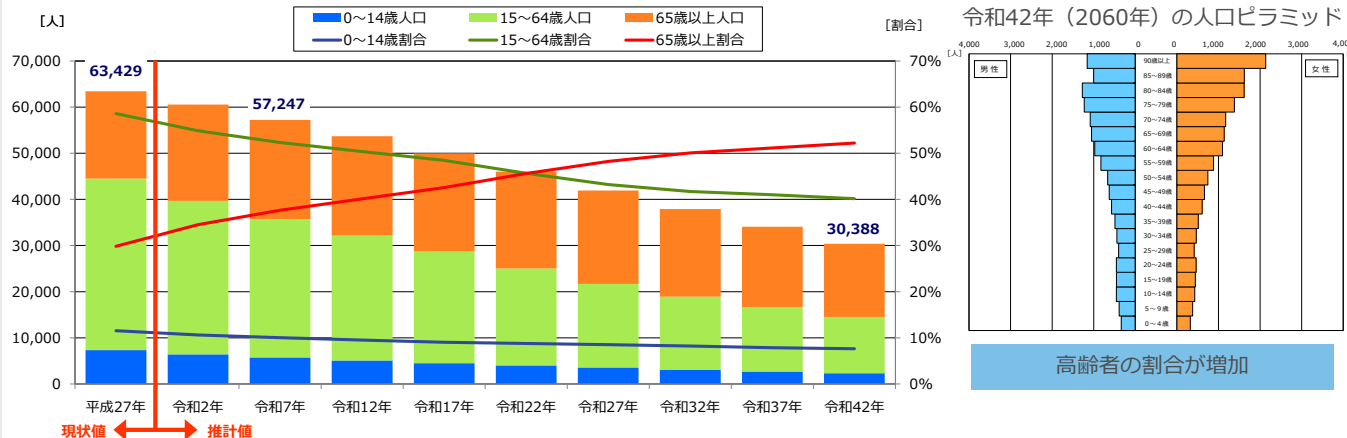
- 出生数の減少による「**自然減**」と、若者の市外への転出による「**社会減**」の両方が進行し、平成12年をピークに人口は減少している。



【出典】十和田市住民基本台帳（平成16年以前の数値は、現在の市域に合わせて組み替えたもの）

## 2. 将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所推計（H30年）に準拠）

- 今後も人口減少は進行し、令和7年（2025年）には57,247人まで減少し6万人を割り込む見込み。さらに、令和42年（2060年）には30,388人と対平成27年比で52%減少（▲33,041人）すると予測される。



## 3. 十和田市が目指す将来の人口

- 自然減対策
  - 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるための施策に取り組むことで、令和22年（2040年）までに市民の**希望出生率※2.08の達成と女性人口の維持**。

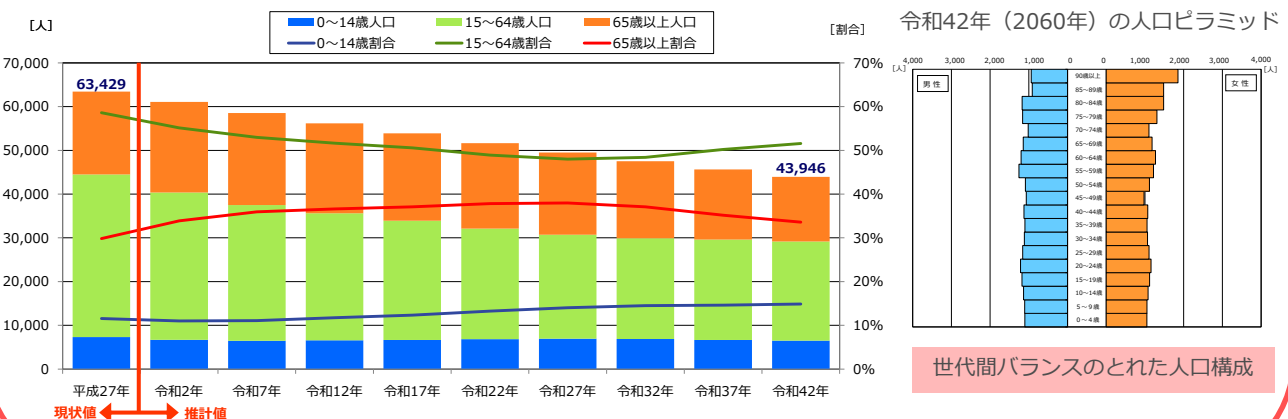
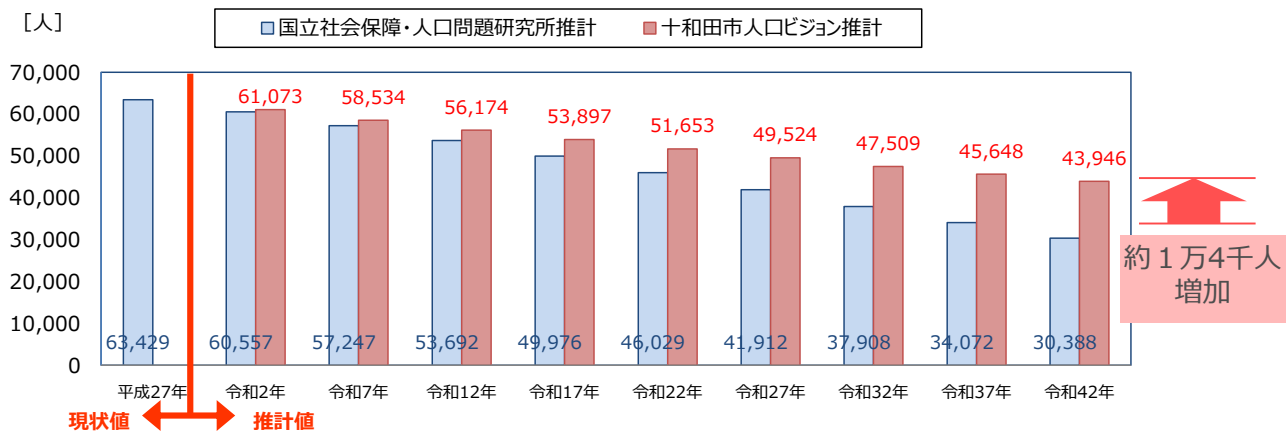
※希望出生率…平成27年に実施した市民アンケートから算出した市民の希望する出生率

	平成30年	目標				
		令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
合計特殊出生率	1.45	1.52	1.66	1.80	1.94	2.08
出生数（人）	376	403	413	421	421	425
対象女性人口（人）	10,779	10,582	9,361	8,371	7,792	7,555

- 社会減対策
  - 移住・定住促進に取り組むことで、令和12年（2030年）までに**社会増減が均衡**。

	平成30年	目標（5年平均）				
		令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
社会増減数（人）	▲125	▲100	▲60	0	0	0

### 令和42年（2060年）の十和田市人口約4.4万人





人口ビジョン

総合戦略期間（令和2～6年度の5年間）

中長期展望

人口減少問題の克服

◎令和42年（2060年）に  
将来人口推計より  
約**14,000人**の人口増

➢令和42年(2060年)人口見通し  
43,946人  
(国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口：30,388人)

●「人の流れ」を変え、人口流出に歯止めをかける  
➢若者の流出を止め、呼び戻す  
➢令和12年（2030年）までに社会増減を均衡

●「出生率向上」のため、阻害要因を取り除く  
➢令和22年(2040年)…2.08を達成（以降は2.08を維持）

●長期かつ総合的な視点から有効な施策・事業を迅速実施

●「選択」と「集中」の徹底

●女性、移住者、高齢者が活躍できる地域社会づくり

共通戦略

共通戦略1 多様な人材の活躍する地域社会の推進  
共通戦略2 未来技術や地方創生SDGsの視点による持続可能なまちづくり

基本目標  
(◆基本目標KPI)

重要業績評価指標  
(KPI)

施策

基本目標1  
十和田で想いのある仕事を

地域の特性に応じた産業の成長と、安心して働ける環境の実現

- ◆農業産出額  
2,442千万円(H29)→2,608千万円
- ◆観光消費額  
547億円(H30)→590億円

新規就農支援事業利用者数  
14人/年(H30年度)→16人/年

とわだ逸品販売額  
1.3億円(H30年度)→1.5億円

創業者数  
13人(H30年度)→50人(5年間)

新規求人充足率  
23.3%(H30)→25.0%

延べ宿泊者数  
327,896人泊(H30年)→367,244人泊

- 農畜産物など高品質なとわだ産品のブランド力の更なる向上
- 産学官金労言士の連携強化などによる産業の創出
- 地域産業の成長・発展
- 観光地域づくりの推進

基本目標2  
十和田で豊かな人生を  
地域への新しいひとの流れをつくる

- ◆社会増減数  
▲125人/年(H30)→▲60人/年

移住定住事業の利用世帯数  
38世帯/年(H30年度)→60世帯/年

転入者に占める若年層(20~39歳)の割合  
54.9%(H30)→60.0%

- 移住希望者への支援体制の強化と若者、子育て世帯等の市内定着促進
- 地域資源を生かした関係人口の創出

基本目標3  
十和田ではぐくもう人間愛を

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆合計特殊出生率  
1.45(H30)→1.66

婚姻率  
3.6(H30)→4.6

年間不妊治療申請平均件数  
53件(3か年平均)→維持

子育て世代親子支援センターの切れ目のない支援による出産・育児について満足している割合 90%以上

あおもり働き方改革推進企業等登録数  
2社(H30)→10社

- 出会い・結婚について社会全体での
- 子育て世帯への経済的支援の充実と不妊に対する支援
- 地域における子育て支援体制、子ども教育の充実

基本目標4  
十和田で育てよう地域愛を

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

- ◆介護保険制度の要支援1・2の方の維持・改善率  
90.10%(H30年度)→92%以上
- ◆居住誘導区域内の人口密度  
32.6人/ha(H27)→維持

日常生活動作が自立している期間の平均  
男77.88歳 女82.44歳(H28年度)  
→男78.17歳 女83.16歳

市民活動支援事業のうち地域資源を活かし、地域課題に取り組んだ事業数 3事業/年

新たな広域コミュニティ数  
4地区(H30年度)→7地区

市街地循環バスの1便当たり利用者数  
2人(H30年度)→6人

- ライフステージに応じた生活習慣の改善
- 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくり
- 地域資源を生かした主体的な地域づくりの推進
- 災害に強く犯罪のない、安全・安心なまちづくり
- 快適な暮らしや活発な経済活動を支える都市基盤が整ったまちづくり

## 基本目標1 ～十和田で想いのある仕事を～ 地域の特性に応じた産業と、安心して働ける環境の実現

9基本事業

【施策1 農畜産物など高品質なとわだ製品のブランド力の更なる向上】

- ①意欲ある担い手の育成・確保
- ②生産性及び収益力の向上
- ③とわだ製品の認知度向上及び販売拡大

【施策2 産学官金労言士の連携強化などによる産業の創出】

- ④商業・サービス業の高度化

【施策3 地域産業の成長・発展】

- ⑤雇用・就労の支援
- ⑥企業誘致の推進

【施策4 観光地域づくりの推進】

- ⑦多様な主体との連携の強化
- ⑧観光客の受入体制の充実
- ⑨観光資源の整備と充実

## 基本目標2 ～十和田で豊かな人生を～ 地域への新しいひとの流れをつくる

5基本事業

【施策5 移住希望者への支援体制の強化と若者、子育て世帯等の市内定着促進】

- ①移住・定住就農支援
- ②U I Jターン就職支援
- ③交流・定住人口の推進
- ④空き家の利活用の支援

【施策6 地域資源を生かした関係人口の創出】

- ⑤関係人口の創出・拡大

## 基本目標3 ～十和田ではぐくもう人間愛を～ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

7基本事業

【施策7 出会い・結婚支援】

- ①民間活動団体等を主体とする仕組みづくり支援

【施策9 地域における子育て支援体制と子ども教育の充実】

- ⑥子どもが健やかに育つ環境づくり
- ⑦望ましい教育環境の充実

【施策8 子育て世帯への経済的支援の充実と不妊に対する支援】

- ②安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- ③特定不妊治療支援
- ④子ども医療費助成支援
- ⑤幼児教育・保育の無償化及び保育料の軽減

## 基本目標4 ～十和田で育てよう地域愛を～ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

12基本事業

【施策10 ライフステージに応じた生活習慣の改善】

- ①生涯にわたる健康の増進
- ②疾病予防の充実

【施策12 地域資源を生かした主体的な地域づくりの推進】

- ⑥市民活動への支援
- ⑦広域自治組織の育成
- ⑧障がい福祉サービスの充実

【施策11 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくり】

- ③介護予防の推進
- ④生きがいづくりと社会参加の促進
- ⑤高齢者サービスの充実

【施策13 災害に強く犯罪のない、安全・安心なまちづくり】

- ⑨地域防災力の強化
- ⑩事故や犯罪を未然に防ぐ環境整備

【施策14 快適な暮らしや活発な経済活動を支える都市基盤が整ったまちづくり】

- ⑪持続可能な市街地の形成
- ⑫ごみの減量化・資源化と再利用の推進

基本目標に資する各分野個別計画等との連携

中心市街地活性化・立地適正化・公共交通網・福祉 等